

石岡未来会議オンライン第4回「暮らしを豊かにする場所を、まちにつくろう」 要約

2020/12/5（土）午後1時～4時

当日の流れ

1. オリエンテーション（石岡未来会議の目指すもの・グラドルールの説明）
2. 参加者自己紹介
3. 第1～3回の振り返り・第4回のゴール
4. 今日のワーク説明・テーマ出し
5. ラウンド①・全体共有①
6. ラウンド②・全体共有②
7. 一人一言チェックアウト

当日の参加者 32人（内訳：男性15人・女性17人で、年齢層は16歳～85歳）

第1回～3回の振り返り

・第1回「石岡市の『いま』を知ろう」

「第2期まち・ひと・しごと創生 石岡市総合戦略・人口ビジョン（令和2年3月策定）」「第2期子ども・子育て支援プラン策定のためのニーズ調査結果報告書（平成31年3月策定）」「石岡ふれあい長寿プラン～第7期～（平成30年3月）」から、石岡市の現状を把握した。令和2年3月末の石岡市民会館の閉館に伴い、4月からスタートした文化施設整備事業（立地候補・施設機能の検討）の概要について情報提供を受けて「施設を使ってみて感じた課題や、こんな施設があったら使いたい」について対話を行った。

・第2回「育てたい石岡の文化について考えよう」

石岡市民会館の施設機能、利用者数・団体、使用料などについての情報提供を行った。市内で文化活動を行ってきた「いしおか子ども劇場」の代表の川俣佐代子さんに、これまでの活動の成果と、現状と課題、今後の展望についてお話を伺った上で、「この先、あなたはどんな文化活動をやってみたいと思うか？」「文化活動が生まれたり、活性化したりするための仕組みや機能は何だと思うか？」について、対話を行った。

・第3回「文化を育てる仕組みとは」

「石岡市文化芸術推進基本計画（令和2年3月策定）」から、石岡市の文化の定義や、現状の課題、今後の方針などを把握した。第1・2回で参加者から出てきた「こんな場があったらいい」を体現している全国の複合文化施設の成功事例を遠山浩司さんに伺い、「どんな施設のどんなところがよかったか？」「施設で、こんなことをしてみたい、こんな関わり方をしてみたい」をテーマに対話を行った。

第4回目のねらい 本事業は、協働のまちづくり推進と、文化施設整備事業に関する意向調査の2つを目的に実施した。第1回～3回は事務局で「対話のテーマ」を用意し、文化施設整備に関する意向調査を軸に実施。「施設に求めるもの」と「運営に求めるもの」に関する意向を把握することができた。1～3回で参加者同士が少しずつ知り合っていたことで、「地域の活動に関わっていきたいと思うようになった」という感想も寄せられた。

そこで第4回は、協働のまちづくりの観点から、責任と情熱をもって掲げたい「対話のテーマ」を参加者から出してもらうことにした。「『私は』石岡未来会議のメンバーで〇〇をしてみたい」と責任と情熱をもって掲げられるテーマを募り、8つのテーマで対話を行った。

テーマが生まれるまで

新たな文化施設ができるまでにはあと、最低でも5年かかる。新たな施設がないと石岡市の文化活動は生まれないのか？始まらないのか？今から始められることはないだろうか？について考えたい。

『私は』石岡未来会議のメンバーで〇〇をやりたい。参加者から出されたテーマは8つ

1. 閉館した旧市民会館をどうするか？ →グループ6に統合

2. 里山の暮らしや遊び・多様性のある学びの場について話したい

- ・学校での里山体験をどう実現させるか？教員も子どもたちにいろんな体験をさせたい。
- ・地域の人にどうアクセスするかが課題。地域の情報を可視化させたい。

3. 駅前の活用について話したい

- ・空き店舗は小さくて、コンサートなどには使いづらい。
- ・朝市や、八郷から芸術家を呼んで個展などができないかな？
- ・商店街のひとたちにアンケートをして、どうしたらいいと思っているのか聞きたい。
- ・自分でやるのは骨が折れる。市役所のひとが企画してくれたらありがたい。

4. 新しい市民会館には、どんな機能を複合化させるべきか？について話したい

- ・ホールの機能：コロナだから、1000人規模でも、500人しか入れないなどがあるのでは？と思い、大きい方がいいと考えていた。しかし、住民主体のコンサートは、1000人規模だと満席にすることは難しく、満席にならないと盛り上がらないという意見も聞いた。そこで大きいホールは作るけど、小さくもできる。でも音響はいいみたいなホールがあるといい。
- ・運営方法：市民が運営に携わるべき。世代・性別ごとに委員を出す。
- ・施設機能：勉強部屋は、学生が夕方から夜に使う。昼間は学校。高齢者は昼間に会議室を使う。時間帯によって、会議室にも勉強部屋にもなる。時間帯によってフレキシブルに使えたらいい

5. I・SHI・O・KAミーティングの会/オンラインで「車座」を開催したい

- ・市民と行政がつながる形をもつことはとても重要。新たな人が参加してくれる仕組みをつくってあげたら。行政も力も必要。自分たちでできることもある。
- ・ISHIOKAミーティングの会。オンライン公民館。動き出したい。

6. 音楽～子どもと大人～について話したい

- ・スタジオは地方にこそほしい。石岡と八郷の壁（龍神山）
- ・音楽はいろんなジャンルがある。市民吹奏楽、オーケストラ、かくれ経験者。中高生が、大人と一緒に練習することで、親に話せない思いを話せる。
- ・食に対する思い。単純に、音を合わせる楽しさを感じられる場所になったらいい

7. おもしろい人と場所のリスト化したい

- ・若手の農家さんが、農家になるまでとか、絶対おもしろいコンテンツがある。まとめて載せて、シェアして、また情報が集まる。情報がストックされている場所があるといい。
- ・コンテンツをどうつくるか？それをどうストックしていくかの2軸で回していくといいのかな？
- ・例えば、新しい文化施設にスタジオをつくって、市民ラジオで発信したり？

8. 中間支援人材・コーディネーターについて話したい

- ・まちづくりに参加している若者、参加していない若者と、2極化している。知らないものに参加することはハードルが高い。もっと身近なひとから、話しをもらえるといい。役所は、異動があって、人が変わってしまうから、コーディネーターがいるといい。
- ・地域、市町村に関わることのハードルを下げるか？やはりコーディネーターの存在は、大切

9. カフェ

- ・小学校の統廃合が進んでいるから、文化施設の複合化とあわせて、小学校の統廃合もできないか？
- ・魅力ある教育の場があれば、人は集まってくる
- ・市内のまちづくり団体の後継者の問題ってどんな感じなのだろう？

グループ01~08から出た意見

■グループ01→グループ06に統合

■グループ02：里山の暮らしや遊び・多様性のある学びの場について話したい

- ・仲間10人くらいで、常々、石岡を良くしたいと話している。筑波山にハイキング客が多く来ているから、そのお客さんを、八郷側に呼び込めないかと考えている。2~3日前、三ツ石森林公園に行った。そこは理想の里山だった。霞ヶ浦が見えた。このあたりのハイキングコースは、雪入探検隊という方たちが整備している。ひとりの方が150人ボランティアで手入れしている。つくばねとオートキャンプ場などを拠点で、八郷でもそういうことが始められないかと考えている。
- ・場の整備、人が来る仕組みが必要
- ・市民と行政の中間の立場。石岡市の行政は、それぞれの部局は一生懸命やっているが、部局同士のつながりがない。
- ・やりたいなという人をまず集める。プロジェクトメンバーが集まる場をつくる

■グループ03：駅前を活用について話したい

(駅前を、どう思っている?)

- ・石岡駅前何もないよねと言われる。さみしいよねと、ほかのまちの人から言われる。
- ・駅前通りの空き店舗が気になっている。昨年、空店舗を3店舗借り、ジャズとクラシックのコンサートを開催した。駅前通りに人通りを作りたいと思った。広報がうまくいかず、参加者は40人くらいだった。
- ・空き店舗を自由に活用できる方法を、行政として考えてもらいたい。
- ・団体に2つ所属している。団体で、石岡カフェを使いたいと思っても、駐車場が有料。レンタル料金を各自で交渉しないといけないのは大変。結局、別の場所を使った。
- ・周辺を活性化させると、駅前のお店がつぶれてしまったということもある。
- ・学生時代、土浦駅を使っていた。図書館が駅近にあって、市役所のなかに誰もが使える施設がある。そういう場所が駅前にあつたらいいと思う。

(どうしたら、駅前が発展する?石岡が向上する?)

- ・市役所の駅前の構想は?中心市街地活性化基本計画、駅周辺整備事業などがある。
- ・看板建築をレンタルして、そこでコンサートとかできるといい。人が使えるようになっているといい。そういう使い方をするとき補助金とかあるといい。
- ・文化活動、市民活動に開放してくれる場所があつたらいい。今泉家具屋さんあたりとか。
- ・そこに住んでいるひとたちにアンケートをとってもらって、どんな風に考えているのかを把握したい。じゃないと、どんどん空地みたいな場所が増えてしまうのではないか?
- ・御幸通りを月1回のあの通りで、朝市みたいなことができたらいいのでは?
- ・駅前の空き店舗は8軒あった。小さくてコンサート会場には使えなかった。
- ・活性化とは、どういう状態なのか?について共通理解をもつことが大切なのでは?
- ・イベントをやるとき、どこを頼って、メンバーを集めたらいいのか、分からなかった。
- ・空き店舗が使えないから、商店街全部を使って、歩行者天国にして、サマーフェスタのようなイベントをやっては?週5回くらい通るけど、シャッター街でさみしい。
- ・まちかど情報センターで、サンド市をやっている。それを統合して大きくやってくれる主催者がいればいい。空き店舗の利用料の交渉からやらないといけなかったから手間がかかった。そういう情報がまとまっているといい。
- ・もっと行政も関わってほしい。おしゃべりコンサートがなくなったから、企画した。経費の半分は補助してもらったけど、半分は自腹。市に甘えてはいけないと思うけど、頼りたい

- ・個人的には、まちに関わりたいと思うけど、まわりは、駅前はずたれているからという反応。学生が参加できるものがあれば、積極的に参加したいが…。

■グループ04：I・SHI・O・KAミーティングの会/オンラインで「車座」を開催したい

- ・車座の主体は誰？やってみてどんなことが期待できる？
- ・集う場所。施設を考えるべきなのか？オンラインを考えるべきなのか？
- ・気軽にテーマ別で集まれたらいいな。
- ・4回参加してみて、もっと話したいけど、時間に制限があって話せないということが増えてきた。ほかのひと巻き込んで、参加してみたいとなったらおもしろいと思う。これで終わるのはもったいない。
- ・オンラインで集う場を事務局に投げかける。定期的にこういう場をもってはどうかと働きかける。次のテーマはこれでという流れができれば面白い。
- ・できれば、FBのグループをつくって、今こんな話題出ていますということができるといいな。
- ・人数が多ければいいわけではない。地道に続けていくことが大事。
- ・住んでいるひとの感覚としては、踏み込んだテーマで話したいのかも。
- ・話し合う土俵を用意して、そこに乗っかってもらうというのでもいいかな
- ・つながりを持ち続ける、プラットフォームをつくる。FBで友達になる。差し支えなければ。
- ・今のテーマを引き続き、オンラインで話し続けてもらう。
- ・テーマは事前に決めることもあるし、そのときのメンバーで決まることもあるし。
- ・そこは誰が主催するかということになってくる。誰が主催してもいい形にしたい。
- ・市で管理しているZoomの会議室をあてがってもらえたらいいのかなと思う
- ・オンラインで車座は、顔も見えてしまう。顔が見えるのはちょっと嫌と思う人もいるかもしれない。
- ・広がって、つながって、続けていくというのを形に残したい。
- ・社会福祉協議会は、市民と行政の中間的な立場。市民の声にも近い。行政にも近い。行政側も市で問題が起きたら、コミュニティ推進課から、ほかの課にテーマをあげてくれない？という横断的に、部局関係なく。市民のひとから意見を聞く場をやるから、テーマをあげてくれない？という感じで、市民の意見と行政側の意見が交差する場ができると、市の発展につながるのではないかな？
- ・石岡のことをみんなで話し合う場。みんなはどんなことを考えているのかを知りたかった。自分の考えも伝えることができたというのが参加した理由。4回で終わってはもったいない。じゃあ、どういったら、それを残せるのか？
- ・組織にしなくて、2人あつまって、石岡のことを話しているのもいい。4回で終わりにしてしまってももったいないと思う。いい会議だった。
- ・車座をやっていったら、市民の声が反映されやすくなるのではないかな？展望は？
- ・市のホームページに車座を開きますよという情報を掲載して、ご参加ください、各グループで話しているテーマを掲げて、皆さんご参加くださいというような。そんなやり方でもいいのかな。
- ・集まる、集まらないは、その時々。10人のときと2~3人のときとある。この場を体験してもらうことも大切なのかと思った。
- ・もっと慣れていないと、いろんな年代のひとに参加してもらうのは難しい。小さいグループができるまでは行政は大変だと思うけど、Zoom会議の開催元として動いてもらう。それに慣れると、知り合いになった人同士からやり取りが生まれる。それがもとになって、行政が動いたり、地域が動いたりとなっていったらいいな。
- ・とっかかりの会議室などは行政につくってもらう。その場の運営は、私たちでできたらいいな。ファシリテーターは必要。そうするとつながっていけるのかな
- ・今は司会、進行のひとたちを付けてくれているが、場だけつくってもらって、行政も肩ひじ張らずにいいのかなと思う。
- ・オンラインの集会所みたいなかんじで、話し合っ、じゃあまたねという感じで話ができれば。オンライン公民館。

■グループ05：新しい市民会館に複合化されるべき機能について話したい

- ・これまでの話で駅の東側とイベント広場は決まっているようだ。ふるさと歴史館があるが、老朽化していて規模が小さい。「歴史のまち」なので新しい施設をつくるのであれば、石岡の歴史を体感できるような施設があるといい。
- ・今回のオンライン会議は市民会館のことがメインであり、ここで話された内容が市に伝わって方向性が決まってくると思う。それを踏まえて、われわれが何をすればいいのかをみんなで話したい。
- ・文化協会に加盟している。市民会館が閉館なくなってしまったことで発表ができなくなってしまった。中央公民館は音響などの設備の使い勝手が悪い。大きいものを求める代わりに、設備が充実しているものがよい。練習もできたり、人が通っていたり、発表ができることがいい。八郷まで行くのは大変、街中が活性化されることを願って、街中に発表の場と練習の場が欲しい。文化協会の願いでもある。
- ・石岡の文化を若い人にも知ってもらいたい。そのような機会が得られるような、小さな部屋や交流の場を求めていきたい。

■グループ06：音楽～子どもと大人～について話したい

- ・地元オケをやりたい。でも、やれるところがない。下手な大人が、気楽にやれる場所がない。
- ・オープンなスペースができれば、みんな参加してもらえるし。吹奏楽やっていた人口がもったいない。
- ・学校には、余っている楽器がある。そういうのを使いたい。
- ・石岡市には結構、合唱団がある。
- ・ストリートピアノのある場所があるといい
- ・ヤマハで、ストリートピアノの貸し出しがあるらしい。新しい市民会館ができれば、入口に置いてあったりするといい。良かったら常設とかになるといい。
- ・生徒たちでハンドベルをやっている。園部中学校にはちゃんとしたハンドベルがあるらしい。眠っている楽器もったいない。

■グループ07：おもしろい人と場所のリスト化したい

- ・情報を発信したいひとと知りたいひとをつなげるマッチングサイトがある＝いしおかスマッチ
- ・いしおかスマッチに掲載されている情報は幅広くて、柏原工業団地の情報なども載っている。観光情報だけじゃないらしい
- ・市内のひととか、観光客が、これをみたらおもしろいものがあるといいな。
- ・個人的に作っているひともいるんじゃないかな。観光ボランティアをやっているひとは、個人的にリストをつくっている。そういう情報をもっと公になればいいな
- ・そういう団体を巻き込めば、もっと情報が出てくる。インターネットで調べることが多い。実際に、行動するのは口コミだけど、情報は、インターネットで見つける。ネットに情報が出ているとよい。
- ・そういう情報をどこで知るか？が重要
- ・ツムラの漢方薬工場訪問。柏原工業団地があるけど、市民としては分かってない。知れるといいな。現在の広報・情報ルートに載せて、石岡市の特色として、みんなで共有できる方法があるといい。今は外で眺めるだけで、中で何をやっているかが分からない。
- ・フラワーパークの前のペトラン。そば街道、お酒づくり、八郷のクラフトフェア、全国から来る。クラフトフェアには、山ちゃんせんべいとして参加したことがある。高安さんの桐工芸、ウイスキー工場がある。こういう場所があるんだというのが、誰にもわかるような広報媒体が必要。
- ・八郷だと農業が盛ん。若手で農業を営んでいるひととかに取材したりすると、農業の魅力が発信できるんじゃないかな。八郷の魅力も。農家によっても、それぞれ背景がある。家業でもあれば、移住者もいる。

- ・有機農家にも幅があるらしい。こだわったひともいる。そういうひとにスポットが当たればいいな。
- ・私たちものづくりをしているひとを応援することが大切。
- ・暮らしの実験室がある
- ・つくばの山新とか、青山ファーマーズマーケットに出店している農家もいる。個人でやっている人たちが増えていったらいいな。
- ・父は梨農家。60歳だけど、2番目に若いと言われている。もっと若いひとが増えたらいいなと思っている。一番若くて45歳。
- ・ものづくりの分野に、若いひとが入ってこられるようになるといい

■グループ08：中間支援人材・コーディネーターについて話したい

- ・このテーマに参加した理由（以下）
- ・新しいことを始めるためにはコーディネーター人材がいる方がよい。
- ・市役所の中で働いていると石岡市内の情熱がある人を見つけることが難しい。どのようにしたら市内で何かやりたいと思っている人を見つけられるかについて考えたい。
- ・この会議に参加して、石岡には一生懸命な人がこんなにいるんだということに気づかされている。これから市民会館とかに参加するにはこのテーマに参加しておいた方がよいと思った。普段は柿岡の家でアトリエを開いている
- ・アトリエとかをやっている中で、もっとアトリエを広げたいと思っているか？
- ・コロナの影響もあってどこまで広げるかというのは迷っているところ
- ・そのようなときに行政でどのような人がいればよいか
- ・商工会議所とかがあるのはわかっているが、行政とどこからどうかかわっていけばよいかわからない。こっそりやっているみたいになっている。
- ・商工会議所の青年部では「まちのタウンページ」みたいなものを作りたいという話がある。「いしおかスマッチ」というのを立ち上げた。常陸の国マーケットさんやクラフトの方が入っていて、副業の部門をつけている。登録できるのが、石岡市に在籍しているか、活動している事業所があるかたである。この間風土記の丘で石岡スマッチをとおしてフリーマーケットを行った。もし、そのような情報発信をしたいと思っても、まずどこでどういうのをやっているかというのを、誰に一元化してお願いすればよいかわからない。そのようなコーディネーターがいると良い。
- ・広報という意味であれば秘書広聴課がある。市の仕事でも、自分たちの活動を知ってほしいという団体がいる。そのような人たちには広報の職員に取材を依頼したりする。
- ・役所、市民セクターいろいろ越境しているので、コーディネーター人材の必要性を感じている。それをどうにかして市に入れていきたいと思って、まちづくり推進委員にも参加している。

■グループ09：カフェ

- ・文化施設と教育をどうつないでいくか？ふるさと学習と絡めて、総合学習の時間と絡めて田植え体験とかできたらいいな。
- ・文化施設の話も小学校との複合化と一緒に議論できたら面白いと思う。
- ・全国的にイエナプランの小学校が立ち上がったりしている
- ・公教育の可能性は、まち単位でつくっていくものなのかなと思う。既存のまちのひとたちは、既存のアイデアしかでてこない。今回のメンバーのようなひとたちが集まる場で、そんな話ができれば。

- ・水戸のよい事例を、石岡市に取り入れるにはどうしたらいいのか？
- ・家で調べたくなるような授業をするべき。ドリル何回やれとかは、持ち帰り仕事の習慣化を生んでいる。
- ・言われたことしかできない大人が増えているというけど、小学校からそういう風に育てられてきた。小学校のときから、子どもに選ばせるような教育してない。総合的な学習がはじまって20年。どう変わったのか？
- ・小学校はキャパオーバー。外国語教育も入ってきた。総合的な学習をやっているといっても、探求的なことできてない。石岡市でふるさと学習に力を入れるというのだったら、地域人材を投入できるんじゃないか？
- ・まちかど情報センターができて20年近く。あの場所をつくるのに、NPO法人が立ち上がってきた。重複する部分があれば、調整が必要なんじゃないかな。
- ・子育て世代とまちなかのひとをつなぐことができたという思いをもって、活動をされていたことがあったと聞いている。違う価値観のひとたちを交じり合わせることをトライしてきた場所なのだと思う。地元のひとと外からきたひとの接点、土の人、風の人が、交じり合っていて風土ができると言っている。そこをつなぐことが、どれだけ難しいか。そこにチャレンジしていたのが、まちかど情報センター。運営の中心は、いま60代。高齢化は課題。若いひとが入ってくるといい。石岡市のNPO法人はいま20くらいある。新しく立ち上げるには、いまNPOが抱えている課題を把握することが大切。